

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	鹿児島大学
設置者名	国立大学法人 鹿児島大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。

(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)

鹿児島大学では、全学教務委員会において、シラバスの全学的なガイドラインを定め、設けるべき項目、記載すべき内容及び留意事項等を明示している。当該全学的なガイドラインに従って、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を全学部において作成している。

公表時期については、学生が履修登録の際に授業科目の選択に資するよう当該年度が開始される前にはホームページ上に掲載している。

全学的ガイドライン

○授業計画(シラバス)作成のガイドライン

1. 履修科目の選択

○日本語・英語を編入 …日本語科目及び英語科目を入力して可。
○日本語のみ編入 …英語科目は日本語の科目が選択し記載されます。
○英語のみ編入 …日本語科目は英語の科目が選択し(上書き)されます。

2. シラバス編入項目(全学統一)

編入項目は、シラバス入力画面の項目順に並んでいます。

編入項目	入力 条件	留意事項など
履修年度 Academic year	必須	適用管理画により設定済みです。
学期 Semester	必須	プルダウンから選択すること。【前期、後期、通年…第4ターム】
学年 Year level	必須	プルダウンから選択すること。【1年、2年…6年】
曜日 Day of week	必須	チェックボックスから選択すること。【月、火…集中、不定、その他】
時間 Time	必須	チェックボックスから選択すること。【1限、2限…集中、不定】
履修期 Year/Semester/Term Faculty/Department	任意	プルダウンから選択すること。【1期、2期…1学期など】又は直接編集(自由記述)も可能です。【1期→2期等】
科目名 Course title	必須	授業科目名(日本語表記・英語表記)を入力すること。
所属部署 Faculty/Department	必須	プルダウンから選択すること。【共通教育センター、○○学部、○○研究所】
学科・プログラム等 Department/Program etc.	任意	チェックボックスから選択すること。
科目区分 Subject type	必須	プルダウンから選択すること。【必修、選択必修、選択、自由、教職、その他、要件外】
授業形態 Mode of instruction	必須	プルダウンから選択すること。【講義、実験、実習、演習、実技、講義と実習、講義と実習、その他】
対面・遠隔 Course Delivery	必須	プルダウンから選択すること。【対面授業、遠隔授業、対面および遠隔授業(対面50%以上)、対面および遠隔授業(対面50%未満)】 ※ハイブリッド型授業(対面授業50%未満/遠隔授業50%以上)の選択は履修科目を選択すること。
授業方法 Teaching Method	任意	選択する場合は、プルダウンから選択すること。【アクティブラーニング、アクティブラーニング(グループワーク)など】又は直接編集(自由記述)も可能です。
授業回数 Scheduled Class	必須	プルダウンから選択すること。選択後、直接編集(自由記述)も可能です。【15回、8回…不定、その他】
単位 Credits	必須	プルダウンから選択すること。選択後、直接編集(自由記述)も可能です。【1単位、2単位…等】
担当教員 Instructor	任意	主担当教員氏名(日本語表記・英語表記)を入力すること。
共同担当教員 Co-instructor	任意	副担当教員氏名(日本語表記・英語表記)を入力すること。
連絡先(TEL) Contact (TEL)	任意	
連絡先(MAIL) Contact (MAIL)	任意	
授業概要(目的・内容・方法) Course outline	必須	学習目標にどのように繋がるかを範囲に置いて、授業の目的・内容・方法等(日本語表記・英語表記)を入力すること。 授業形態・講義、演習、実験、実習等の場合、バランス、学習指導法(少人数授業、対話・討論型授業、多様なメディアの活用、能力別授業の活用等)の工夫を具体的に記述している場合は、その状況について記入すること。 ※ホームページ入力に限り。
学習目標 Course objective	必須	授業を修了するに当たり、どのような知識・能力が身につくのか、具体的内容(日本語表記・英語表記)を入力すること。
授業詳細 Details for Individual Classes	必須	プルダウンから選択すること。選択後、直接編集(自由記述)も可能です。【本科目は、00種類の単体が必要な内容で構成されている。授業は30分単位(2h×15コマ)となるため、60分間分相当の事前/事後学習(課題等含む)が、授業の理解を深めるために必要となる。等】
授業中に必要な学習時間の目安 Estimated out-of-class study time	必須	
教科書 Textbook	必須	教科書(日本語表記・英語表記)を権力具体的に記入すること。 ※00種類の単体を利用すると読書量(課外読書)も可能です。※完全な情報ではないため、必ず確認のうえ、必要に応じて追加すること。 教科書を使用する必要がない場合は「特になし」と入力すること。
参考書 Reading list	任意	参考書(日本語表記・英語表記)を権力具体的に記入すること。 ※00種類の単体を利用すると読書量(課外読書)も可能です。※完全な情報ではないため、必ず確認のうえ、必要に応じて追加すること。 参考書を使用する必要がない場合は「特になし」と入力すること。
成績評価方法・評価基準 Assessment methods and criteria	必須	出題点は記載しない。できる限り複数の評価方法(各科目の教員が推奨)を用いて、総合的に評価する基準(日本語表記・英語表記)を記入し、そのうち100%を占めるように入力すること。 【生成AI】利用の可否も可能な限り記載すること。(目的・情報収集、文章校正、翻訳、プログラミングの補助等)
履修条件 Enrollment conditions	必須	履修条件(日本語表記・英語表記)を入力すること。条件がない場合は「特になし」と入力すること。
オフィスアワー Office hours	任意	
担当教員への連絡方法 Instructor contact information	任意	
実務経験のある教員による実務的授業 Hands-on classes by instructor with work experience	必須	授業担当者の実務経験及び実務経験をどのように生かして授業を行うか(日本語表記・英語表記)を入力すること。要件上による授業やインターンシップ・実習等を中心とした授業の場合はその内容を入力すること。該当しない場合は「該当なし」を選択すること。
SDGs Sustainable Development Goals	必須	チェックボックスから次の18の選択肢のうち該当する項目を選択(複数可)すること。 1) 持続可能な開発目標(SDGs)を達成するために必要な知識・技能を身に付けること。2) ジェンダー平等を促進し、より公平な社会を実現すること。3) エネルギーをみんなにそしてクリーンに提供し、気候変動による脅威を軽減すること。4) 産業と技術革新の基盤をつくろう。5) 人や国の不平等をなくすこと。6) 清潔な水と衛生を確保すること。7) 責任ある消費と生産。8) 持続可能な消費と生産。9) 産業と技術革新の基盤をつくろう。10) 人や国の不平等をなくすこと。11) 持続可能な都市とコミュニティを築くこと。12) 持続可能な消費と生産。13) 気候変動に具体的な対策を。14) 海の豊かさを守ろう。15) 陸の豊かさを守ろう。16) 公正で平和な社会を築くこと。17) パートナーシップで目標を達成しよう。

授業計画書の公表方法

<https://www.kagoshima-u.ac.jp/education/post-250.html>

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

鹿児島大学では、鹿児島大学学則第42条の2第2項で「各学部等は、学修の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっては、客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準にしたがって適切に行うものとする。」と規定し、さらに、各学部規則にも同様に規定し、各授業科目のシラバスにおいて、具体的に成績の評価基準を明示して、それに基づいて、厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定している。

また、令和2年度に全学の成績評価に関するガイドラインを策定し、令和3年度以降当該ガイドラインに基づき厳格かつ客観的な成績評価を行っている。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

全学的にGPAを取り入れている。共通教育科目等においては、GPA制度による成績評価を行っている。それに基づいて、半期に1回、全学を対象に優秀な学生には表彰を、またGPAが低い学生には低学年時の早期から助言や指導をおこなっている。

GPA値は次の式で算出している。

項目	学習達成度	評語	GPの値
成績評価及び評語	90%以上	A	4点
	80%以上90%未満	B	3点
	70%以上80%未満	C	2点
	60%以上70%未満	D	1点
	60%未満	F	0点
単位認定科目及び他大学等単位互換により単位を修得した科目の成績評価	認定	P	
GPAの算出方法	$(\text{学期} \cdot \text{年間} \cdot \text{通算}) \text{GPA} = (4 \times n_A + 3 \times n_B + 2 \times n_C + 1 \times n_D + 0 \times n_F) / (n_A + n_B + n_C + n_D + n_F)$ 注) n_A 、 n_B 、 n_C 、 n_D 、 n_F は、それぞれ当該期間に履修した科目のA、B、C、D、Fに対応する総単位数とする。		

また、全学の学部生の授業料免除対象者の学力基準の一つとして、学業成績指標を用いて判定している。(学業成績指標が2.0以上の者)

学業成績指標 = (秀(A)・優(B)の単位数 × 3点 + 良(C)の単位数 × 2点 + 可(D)の単位数 × 1点) ÷ 合計修得単位数

客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.kagoshima-u.ac.jp/educenter/gpa.html
------------------	---

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>鹿児島大学では、全学（鹿児島大学）の卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）を定めて公表している。さらに、各学部においても、この全学の方針に沿って、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）を定め、また、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）、入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）も併せて公表している。</p> <p>卒業の認定の際には、これらの方針や学生の修得単位数等を踏まえて、適切に卒業を認定している。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>https://www.kagoshima-u.ac.jp/education/eoplcmnm.html</p>